

## 【成長していく辰年】・・・鈴木

新年を迎えました。2024年も、どうぞよろしくお願い致します。

今年は元日から、悲しい出来事が起こってしまいました。能登半島の大地震そして航空機事故で、亡くなられ方々へお悔やみ申し上げます。

残された家族、そして避難されている方々は生活物資などの不足、そして寒さも重なり辛く大変な日々を過ごしていると思います。なんとかこの困難を頑張って乗りきって欲しいです。

この地震で、妻と4人の子供を失った男性のニュース…。残された子供達のお父さんが「こんな仕打ちがあるのでしょうか、1人になるなんか考えられない。命まで取らんといてほしい、なぜ私がこんなことにならなきゃいけないのか。それは地震が悪いんですかね。今まで当たり前だった人が、次の日にいないと思ったら苦しい」と号泣していました。この悲しくてやり切れない映像がとても印象に残りました。

そして、まだまだコロナ、インフルエンザも大変な時期が続いていますが、今年も戦争、災害に振り廻される一年になるのでしょうか…。

ことし2024年は「甲辰」です。

十二支や十干は数や方角だけでなく、それぞれ独自の意味を持っています。例えば「甲」が持つのは第1位であり、優勢であることを表す他、まっすぐに堂々とそそり立つ大木を表しています。

「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物、龍（竜）です。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。この2つの組み合わせである甲辰には、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさを表しているのだそうです。成長する年になるのでしょうか。

今年も、ウクライナとイスラエルの二つの戦争がいつまで続くのか…。エネルギー供給問題、地球温暖化、史上最悪の食料危機はいつまで続くのか…。そして国内では、インボイス制度や、電子データで受け取った請求書や領収書をデジタル保存義務化



として電子帳簿保存法が始まりました。紙での保存を容認する特例は残り、企業経営のデジタル変革がどこまで進むのでしょうか…。

個人的には、昨年みたいに怪我（骨折）をしないよう健康第一を心がけることと、それに数年ぶりのゴルフをしてみたいと思っています。

寒さがこれから厳しくなりますが、今年も皆様におかれましては、飛躍の一年になりますようお祈り申し上げます。

## 【2024年の始まり】・・・小倉

2024年の年のはじめにあたり、今年こそ（も）明るく健やかに笑顔あふれた毎日を過ごしたいと願います。

しかしながら、国内外で地震などの大規模な災害が起こり、地球規模での危機に直面する年明けにもなりました。

不安や苦しい状況に嘆いてばかりではなく気づいたことを新しい年に生かしていかなければなりません。

ここ最近ではありますが、自分の周りでも、不幸中の幸いという「守られた」という経験が何度か続き、これをたまたまとは思わずに、そのことに感謝し日々の生活をあらためて見直したいと考えさせられました。

運のいい人は、自分さえ良ければいいと考えるのではなく、きちんと他人のことを思いやれる人。ここぞという場面だけでなく、日々のちょっとした出来事の中でも、他人のことを思いやれる人でありたいと考えている人。

これが自然に出来る人が運のいい人といえるのでそんな運のいい脳を意識していきたいです。

自分の軸をしっかり持ち、人を思いやりながら、大きな視野で物を見て進んでいけば、どんなことが起こり、どんな人に会ってもうまくいくのではないかと考えています。

先日、地元の同級生数人が集まり、それぞれに活躍している姿を知り、励みにもなり吸収させられました。良い縁と人との関わりは大切にしたいと考えさせられた一年の始まりとなりました。

本年も気持ちを新たに、より一層仕事に励んでまいりますので、よろしくようお願い申し上げます。



## 【2024年はどんな年になるのでしょうか】・・・手塚

元日に能登半島を大地震が襲い、重苦しい年明けとなった2024年。

1月2日の夕方には、羽田空港での日航機と海上保安庁機の衝突事故。

乗客乗員は全員避難という一報に、まさにほっとしました。あの緊迫した状況で、およそ380人全員を短時間で機外に脱出させた機長以下乗員のみなさんには、ただただ称賛と敬意を表したいです。

周到に想定された待避の手順を、積み重ねた訓練を踏まえて冷静に実践すると言うのは簡単。でも、それをやりきることは今回「奇跡」と呼ばれたように実に難しいことです。一方、日航機と衝突した海保機は能登半島地震関連の救援物資を載せていました。被災者のため元日から献身してくださった方々が亡くなられたのは本当に痛ましいことでした。

## ◆2024年問題

2024年問題とは、働き方改革関連法により、物流業界のドライバーの時間外労働の上限が年間960時間に制限される問題を指します。現在の社会は、商品の運搬においてドライバーの長時間労働に依存していると言っても過言ではありません。

たとえば、食品や日用品の供給が常に確保されているのは、物流業界のドライバーが商品を運んでいるおかげです。近年はオンラインショッピングの市場拡大により、物流業界への需要はさらに高まっています。

そんな中、ドライバーの時間外労働が制限されることで、社会全体に悪影響を及ぼす可能性があると言われています。人々の生活と物流業界は切っても切れない関係にあるため、社会全体の課題として捉える必要があります。

問題山積みの2024年でしょうが元気でいることが一番です。皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

